

7月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 平成29年7月13日(木) 午前11時

2. 開催の場所 栃木放送本社会議室

3. 委員の出席 委員総数9名
出席委員7名
欠席委員2名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	副委員長	太田照男
	委員	鈴木俊男
	委員	平野博章
	委員	荒川政利
	委員	河又弘子
	委員	白幡冬彦

局側出席者氏名	代表取締役社長	大塚幹夫
	報道制作局長	川島育郎
	報道制作局編成部長	宇賀神仁
	報道制作局報道制作部	松井里恵

4. 議 題

(1) リンク栃木ブレックス Bリーグ優勝スペシャル

「ROAD TO THE チャンピオン!」(6月18日 日曜日 10:00～
11:00放送) について

(2) その他

5. 議事内容

(1) リンク栃木ブレックス Bリーグ優勝スペシャル

「ROAD TO THE チャンピオン!」について

試聴番組：6月18日（日）に放送した番組を予め試聴

議題説明：番組制作を担当した報道制作部 松井が番組の概要について説明。

栃木放送では、数年前から、バスケットボールの実況中継に取り組み、今シーズンは、ホームゲームのほぼ全試合を実況中継として放送できた事など紹介。その上で、今回の番組については、優勝を記念し、栃木放送の取り組みを応援してくれているブレックスファンの皆さんへの恩返しの気持ちを込めて番組を制作した事、一方、なるべくファンではない人でも理解できるような内容にすることを心掛けた事などを説明。

次に審議に入る。

各委員からは、

- 番組内の選手との会話で、進行役がほとんどの試合を見てきたことが理解できて、1年間を通しての丁寧な取材であることを感じた。出演した選手の人選も良く、個性的な選手がいることを証明してくれた。優勝の興奮が冷めやらない中での番組企画であり、選手やチームスタッフとの会話で、それぞれの個性が分かるというのは、活字では表せないラジオならではの企画だと感じた。一方で、もう少し、ブレックスファンの独特の雰囲気番組内で取り上げられたらよかった。
- 現場の雰囲気がすごく伝わってきて、すごく良くできた番組だと感じた。また、ファンではない人がこの番組を聴いて「じゃあ見に行ってみよう」というレベルまで持ってくるのは難しいとも感じた。
- 番組の構成は、非常に良かった。内容も含め、特に選手のインタビュー部分では、よく話を引き出せていると感じた。テレビと違い、ラジオだと本人の顔が出ないので、顔を意識せず言いたいことが言えるのだと思うので、ラジオでよかった。番組の出だしの部分の進行が少し早口だったのは気になった。
- 新聞記事を読んでいたが、選手やスタッフ本人の声を聴くことで、いろいろ見えてくる部分もあり、活字と放送の違いを痛感させられた良い番組だった。放送を聞いて、ぜひ試合を見に行ってみよう、という気になった。

- 自分としては、(バスケットボールに) 興味のないリスナーの範疇に入ってしまうが、今度は、その場に行ってみたいという気にもなった。もう少し、過去の実況中継の音声などを入れて(当時の試合を振り返って) も良かったのではないか。
 - 興味のないリスナーは、番組を聴かないと思うので、専門用語を解説しなくても良い。ファンのための番組でよいと思う。
 - ちょっとトークが多かった。トークだけではなく内容を切り替えなど、もう少し、緩急がつけられると良かった。バスケットボール自体を底上げできるような内容であれば、ブレイクスのチームを盛り上げられるのではないかと感じた。
 - ファンの声(の一つ)として、バスケットを愛好している子供たちの声も入れて欲しかったと思った。また、例え来年優勝できなくても、こうした番組を続けて制作して欲しいと感じた。
- などの意見が出された。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

所属会社の人事異動により高橋委員の後任に白幡委員が新たに審議委員として就任し、今月の審議会より出席して頂いた。また、鈴木委員は所属会社を退職することに伴い審議委員を辞任する事となり、次回審議会までに後任を選任する事を各委員に報告した。

8月の審議会は、当初の予定通り休会とし、次回・9月の審議会は、9月14日(木)に開催する事で了承を頂いた。

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

- ① 社の番組「栃木放送からのお知らせ」
(平成29年7月23日 午前8時5分放送)
- ② 社のホームページに掲載(平成29年7月21日～)
- ③ 社事務局に議事録備え置き(平成29年7月21日～)

以上